

第3回 鶴川東地区新たな学校づくり基本計画検討会 議事要旨

開催日時	2022年4月27日（水） 9：30～10：25	
開催場所	町田市立鶴川第三小学校 体育館棟1階 視聴覚室	
出席者 (敬称略)	委員	金澤委員、早稲田委員、磯田委員、田中委員、成海委員、大川原委員、吉川委員、大塚委員、廣田委員、陶山委員、○鈴木委員、◎鯉坂委員、井上委員 (◎会長 ○副会長)
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター
傍聴者	0名	

議事内容

1 基本計画検討会事務局の変更と第2回基本計画検討会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料1-1～3説明）

2 意見募集結果について

新たな学校推進課 （資料2-1～2説明）

振り返りになるが、この意見募集を行った目的を再度確認したい。

今後、この検討会では、学校の施設整備や育てたい子ども像、各校の歴史をどのようにつなげていくかということ等について検討を行っていくが、それらの検討を丁寧に進めていくために重要な、児童やその保護者、未就学児の保護者や鶴川東地区の地域住民の方々の考えや意見などを把握することを目的として実施した。

今後の各項目の検討において、この意見募集の結果を活用していく。

3 学校名意見募集について

新たな学校推進課 （資料3-1～3説明）

学校名については学校名意見募集を実施したうえで、その結果を確認しながら検討する。検討の結果この検討会で3案を選定し、最終的に資料3-3の選定基準に沿って教育委員会で1案にしぼっていく。選定基準には現在の学校名が使えないという規定はなく、今後、委員の皆様とこの検討会の中で学校名の選定を行うに当たって、現在の学校名を使用することの可否も含めて検討を行っていきたい。

委員

新しい学校名は最終的には教育委員会が決めるということは理解したが、今回の意見募集で資料3-1にある対象者から多くの意見を出してもらった結果、一番多かった案を採用するのか、あるいは、意見の数に関わらず教育委員会で決めることになるのか伺いたい。

新たな学校推進課 意見募集の後、新しい学校名を最終的にどのように決定していくのかというプロセスについては、現時点でまだ決まっていない。ただ、意見募集での回答数などは、やはり決定するに当たっての参考になると考えている。

ただ、例えば意見が多かった案が今までの学校と同じ名前であったらどうするか

など、案を絞り込む基準も含めてこの検討会で検討できればと考えている。

委員 児童に学校名のアンケートを取るときに、今の学校の名前を回答して良いのか聞かれたら、いいよと言っていいのか、新しい名前を考えるように促すのか、聞きたい。

新たな学校推進課 現段階では、今の学校名も含めて回答してよいと考えている。

委員 新しい学校が建設されず、学校という建物がなくなってしまう側の関係者からすると、やっぱり新しい学校をつくるからには新しい学校の名前を考えてほしい、そう児童にも投げかけてほしいなと率直には思う。

4 育てたい子ども像について

新たな学校推進課 (資料4-1~2説明)

この育てたい子ども像は、新しい学校が目指すべき姿、教育目標をつくるに当たって参考にする項目になる。

そこで、保護者の皆さんや日頃から学校やそこに通う児童を見守っていただいている学校協力者、地域住民である委員の皆さん全員に、意見募集の結果寄せられたご意見をご確認のうえ、鶴川東地区における新たな学校に通う子どもたちにはこんな子どもに育ててほしいというお考えを伺いたい。

委員 先ほど学校名を子どもたちに聞いてみようねというときに、子どもたちにどのように説明するのかという話があったが、児童にはとても配慮が必要なことだと感じた。

自分も鶴川第二小学校に関わっているのだから、鶴川第二小学校という名前は大切だが、鶴川第三小学校のみんなはもしかしたら自分の学校の名前がなくなってしまうという立場で、同じアンケートを書いているんだよね、だから、鶴川第三小学校のみんなのことも考えてみようねと促すなどすることで、自分たちの都合だけじゃなくて、ほかの学校の子どもたちに立って、今回の新たな学校づくりということを考えるいい機会になってくれたらなと思った。

また、学校名にかかわらずですけども、いろんなご意見を頂戴するのにウェブのフォームを使うのは賛成だが、得意ではない人へのフォローもぜひよろしくお願いしたい。

あとは、これからの子どもたちに伝えていきたいのは、地域がみんなのことは見守っているからねというメッセージをやっぱり出していきたくて思っている。ひとり親家庭にお弁当を届ける事業をやらせてもらっているが、本当に子どもが1人である時間が多いなと感じる。なので、そういうときに地域の人たちと関わる機会というのをいっぱいつくって行きたい。

自分自身もそうだが、学校の先生も両親も大好きだったが、地域の方たちとの思い出というのが今でもすごくあって、こういう体験が、今のこの地域に残って皆さんと先に進んでいきたいなという大きいモチベーションになっている。新たな学校が子どもたちにそんな体験をさせてあげられる空間になっていけばなと思ってい

る。

そして、50年を超える歴史がある両校の卒業生たちが新たな学校を支えてくれることを期待していきたい。そのために、新しく入学してくる子どもや今の児童たちが、五十数年の歴史はこういうものがあるんだということが振り返られる場所もつくっていただければと思った。

委員

私が思うのは、やっぱり学校が楽しいと毎日学校に行きたいなという児童が増えること、そして、物事を全て自主的にできる子に育ててほしいということ。

立場が上の人からの指示で動く人間ではなくて、自分で考え行動できる自主性を持った児童になってほしいと思う。

いじめなどの子どもの将来を左右するような問題のない、楽しく毎日通える学校になってほしいと私は考えている。

委員

個人的な思いとしては、色々な場面で赤信号を守れる子どもたちになってほしい。これまで二十数年間、子どもたちの体験学習で3年生、5年生と勉強させてもらっているが、表現が正しいか分からないが、守ることは守れる子どもになってほしいなと思う。

あと、これまで培ってきた歴史、地域の触れ合い、例えば周年行事とかいろいろと参加もさせてもらっているが、そういうものがこの統合によって終わっちゃった、なくなっちゃったという表現が、子どもたちや地域に長く住んでいる方々から出てこないことを望みたい。残し方も時代に合わせたいろんな形があると思うが、そう感じる。

委員

たくさんの資料を作成して説明いただいた。大変な作業だと思うが事務局には感謝したい。

皆さんのとても貴重なご意見を聞いて私が思うのは、一言で言うと、子どもたちには自己肯定をできる人になってもらいたい。それが生きる力になり、頑張れる根底になっていく。ご家庭で愛され、大切にされ、また、保育園、幼稚園、小学校、中学校と育ちゆく中で皆さんに愛され、大切にされていくことが、私は、子どもたちが自分を大切にできたり、自分を愛せる、また人を愛せる、そういう大人になっていただける根本的な心の育ち、生きる力を育めるものではないのかなと思っています。

そのために、ソフト・ハード面ともに、今回の新たな学校づくりのなかで整備され、地域の方も含めてご支援をいただき、これから21世紀を生き抜く大人に育ててほしいと思う。

委員

資料4-1の裏面に「知」「徳」「体」に関する回答数があり、「知」より「徳」のほうが約2倍多い。知識の習得は人並みでいいけれど、友達と仲よく、優しく、思いやりをもった子どもになってほしいという思いの表れだと感じる。やはり、小学校では友達をつかって、仲よくして、それで体を鍛えるというような、「徳」を重視していると思う。

そして、私の意見だが、今までの様々な経験をされている地域の方々と協力し合

って子どもの見守りをし、子どもたちも挨拶して地域とも仲よくやっていけば、かなりよい子に育つと確信している。

委員

子どもが4人いるが、自分の小さいときとは違って、暇だからテレビを見よう、スマホで遊ぼう、ゲームしようみたいな、そういう情報を全て与える機械的なもので全部完結してしまって、自分から発想しようという気持ちがちょっと少ないような気がしている。

小学校ぐらいのときに、人間的な、動物的な感覚を養うような感じで見たり、聞いたり、みんなで一緒に協働していろんなことをするとかいうのを、今もやってはいるんですけども、新たな学校でも、そういうものを大切にやっていってほしいと思う。

委員

たくさんの資料を準備いただき感謝したい。皆さんのお考えがそれぞれそのとおりだなと思った。今、息子が通っている学校が、年下の子とも年上の子とも仲よく遊んでいる環境なので、すごくいい学校だなと思っている。

あとは、この意見募集の結果を見ると、今いいもの、自慢できるものとかを残したいという意見と、今後こうしていきたいみたいな希望、夢みたいなのが入っていると思うので、こういった意見をぜひ生かしていただきたい。

委員

子どもに望むことといえば、大きい視点ではグローバルに活躍してほしいとか、町田で育ったことを誇りに思って立派に活躍してほしいとか思うが、その根底には、不安定な時代でも自分の気持ちをしっかり持って、考えをしっかり持ってやっていける、乗り越えていけるたくましい人間に育ててほしいなと思っている。

そのたくましさ育てるためには、やっぱり学校なり、家庭なり、いろいろな居場所が安定していないといけないのかなとは思っているので、学校統合ということも不安定さを与えることだと思うので、子どもたちの心のケアなどもしっかりしていただけたらと思う。

委員

上の子が合唱部に入っていて、あんなに何か1つのことにすごく熱中してやっているのを初めて見て、毎日がすごく楽しそうで、そういう自分の楽しいことを見つけられるような子に下の子もなってほしいと思っている。

学校はそういった本当に熱中できる何かを見つけられる場所になればと思う。

委員

私は、新たな学校では多様性を学んで、相手の個性を尊重して、自分の意見も言えるような子に育ててほしいと思っている。

私立の小学校だと、学力だとか家庭環境とかも似たような感じの子が通っていると思うが、公立の小学校だといろんな子がいると思う。

社会に出たときに、自分に似た人ばかりではないので、そこでちゃんと相手とどう接するのかというのを、小学校のうちに学んでもらいたいと思っている、今もあると思うが、支援級の子どものとの交流とか、あとは国際的なことを考えると、外国の方と国際交流を通じて、いろんな人がいて、みんなそれぞれいいんだというのを心の根底で分かっている子に育ててほしいと思っている。

あと、育てたい子ども像じゃなくて、先ほどの意見募集のことで、2つ聞きたい。

1つ目は、学校に大きな木があると思うが、伐採されてしまうのか、残せるのか、移植とかできるのか気になっている。

2つ目は、学校建設のスケジュール上、仮設の校舎で過ごして、新しい学校は卒業してから完成するという子どもたちもいるので、3年間で取り壊されてしまう仮設の校舎だと思うんですけども、そこでも快適に過ごせるような、休み時間は外で遊べるとか、何かそういった工夫も併せて考えてもらえるとうれしい。

新たな学校推進課 1点目の学校の中にある木などを残せるかについて、次回検討会で「歴史の継承」を議題にする予定。木によっては、子どもたちが何かの記念で植えた木とか、大事なイベントで植えたようなものもあるので、事前にこういったものがあるのか調査をして、形として残すのか、もしくは映像として残すのかについて、検討会の中で議論していきたいと考えている。

2点目の仮設校舎の快適性について、仮設校舎の中は本設の校舎とそん色がなく、中に入ったら仮設校舎にいることを感じないと思う。また、仮設校舎をグラウンドに立てると、体育をどうするとか、プールをどうするとか、あと、休み時間に適切な広さが取れるのかというのは議論があるかと思うが、そちらについても今後の中でご相談しながら進めたい。

委員 私は子どもの高校が改築になって仮設校舎を経験したが、中は本当に変わらなくて、今はすごいんだなと思った。

委員 皆様のご意見はやっぱり思いが込められていると思いながら聞いていた。私としては、とにかく、やっぱり生きる力といいたましょうか、困難を乗り越えられる、そういった子どもを育てていきたいと改めて感じた。

委員 皆さんに言い尽くされてしまって、これ以上何を言うんだらうという感じだが、私はこの町田市教育プランの教育目標、「夢や志をもち、未来を切り拓く鶴川っ子を育てる」ということが最終目標なのかなと感じる。

学校生活で育むことができるのは、やはり他者の中に自分がいるということ。だから、他者との間にいろんなことが起きて、コミュニケーションがあって、学びも自分一人じゃなくて他者からも学べる、そして、それが同年齢集団もあるけれども、異年齢の人とも関わるとというのが、すごく学校としての一番大事にしたいところかなと思う。

さきほど社会に出たら、ということがあったが、学校は本当に小さな社会。だから、他者や集団と関わりながら、その中でも自分らしく力を発揮していける子になってくれる願いが込められた目標ができたらいいなと思う。

会長 皆様からたくさんのお意見をいただいた。皆様のご意見を新たな学校の教育目標の作成に活かしていきたい。

私は、個人的に、自己肯定ができる人、それが生きる力となって頑張れる根底になるという意見が心に残った。

どれだけ愛されて育まれて育っていくか、心の育ちとおっしゃったが、今、私自身はそういう気持ちを持って子どもたちに接していくことが大事なんだなと改めて気

づかせていただいた。

5 次回検討会について

新たな学校推進課 次回の第4回基本計画検討会は、5月25日9時半から、鶴川第二小学校で開催を予定している。

会長

閉会のあいさつ